



目片千恵 ガラス展 冬の光
2014年12月13日(土) - 27日(土) 12/19は休み

GALLERY
うつわノート

料金後納
ゆうメール

めかた ちえ
目片千恵 ガラス展 冬の光

2014年 12月13日(土)～27日(土) 12月19日(金)は休み

営業時間 11時～18時 作家在廊日 12月13日

ギャラリーうつわノート 埼玉県川越市小仙波町1の7の6 電話049・298・8715

目片千恵さんは滋賀県大津市に住んでいます。会社勤めをしていた二十代の頃に、旅先で参加したガラス工房の体験が人生を変えました。ガラスの美しさに取り憑かれ、自ら作る側になるべく会社を辞め、ガラスの技術を学び始めました。目片さんのガラスの特徴は、曲面に沿った研磨のラインと淡い色合いです。ガラスを宙吹きした後、その形に沿って丹念に研磨してラインをつくり出します。それを再び電気炉に戻して表面を和らげることで、光を拡散した柔らかな色調が生まれるのです。硬質なガラスでありながら、優しく曖昧な優美さ。それはまるで砂糖菓子のように甘く、カラストーンを見るような魅惑を引き起こします。そのガラスには、夏の力強い光よりも、日が優しく伸びる冬の光が良く似合います。夏の開催が多いガラス展ですが、今回は敢えてこの季節を選びました。本展ではグラス・ボウル・プレートなどの食器の他に、茶入、箱もの、ランプシェードなど多くの新作が並びます。クリスマスも近いこの時期。贈るガラスとしても、きつと喜ばれることでしょう。本年最後の展示会、部屋を暖かくして皆様のお越しをお待ちしております。 店主

プロフィール 1972年 東京生まれ

2001年 能登島ガラス工房吹きガラス講座修了

2014年 牧山ガラス工房にて製作を始める

現在、滋賀県大津市にて制作



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
バス：川越駅東口3番乗り場
[小江戸名所めぐり]乗車～[喜多院前]下車
車：専用駐車場有(25～28番)

